CASBEE 大阪 みらい 建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル：CASBEE大阪みらい（新築）　I使用評価ソフト：「CASBEE大阪みらい 新築」2024年版 (v.1.0.4)

1-1 建物概要

建物名称	(仮称)大阪市西区京町堀二丁目計画　新築工事
建設地	西区京町堀2丁目
建物用途	共同住宅
建築主	
設計者	
竣工年	2029年2月　　予定
構造/階数	RC造　　/　　地上14階
敷地面積	1118.58 ㎡
建築面積	574.27 ㎡
延床面積	5959.71 ㎡

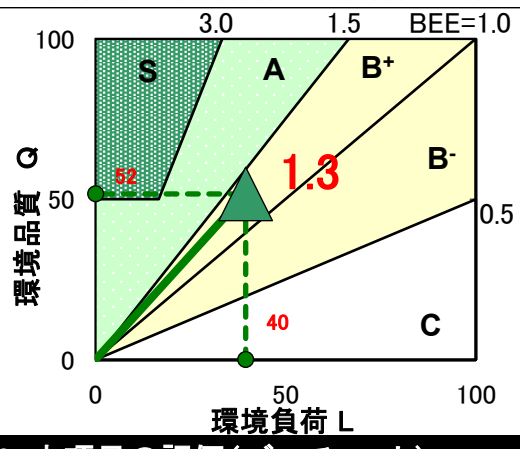
1-2 外観

2-1 建築物の環境効率(BEEﾗﾝｸ&ﾁｬｰﾄ)

B+

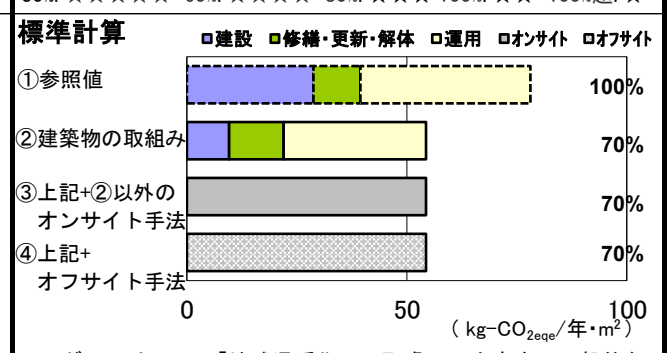
BEE = 1.3

S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



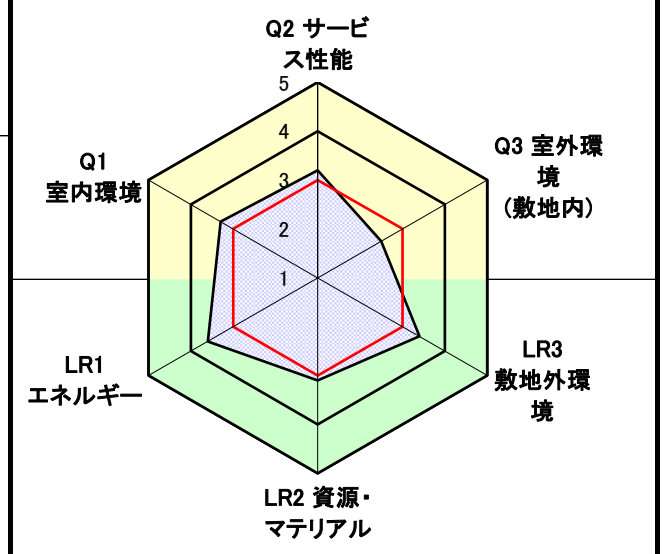
2-2 ホールライフカーボン (温暖化影響ﾁｬｰﾄ)

30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆



このグラフはLR3.1「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたWLC 排出量の目安で示したものです。
④は参考として運用分をBEI+で表示しています。

2-3 大項目の評価(ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ)

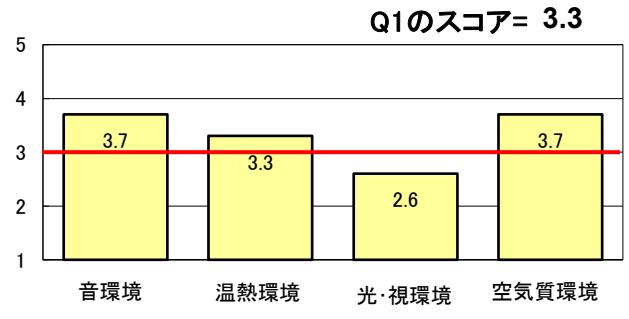


2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質　　Q のスコア= 3.0

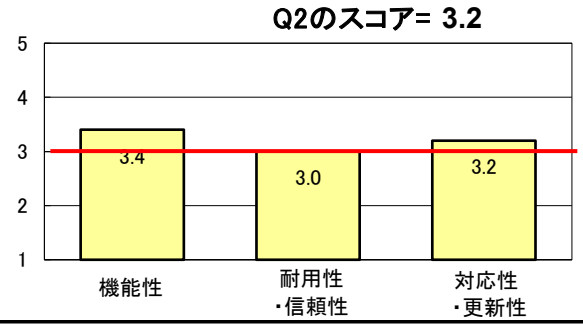
Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.3



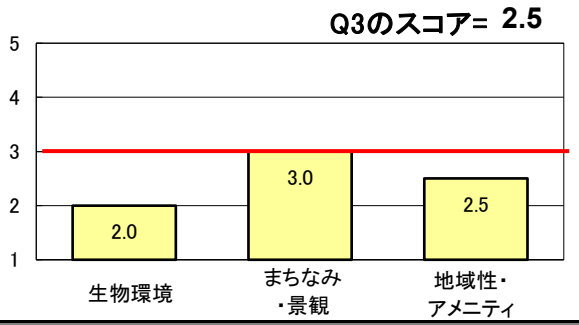
Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.2



Q3 室外環境（敷地内）

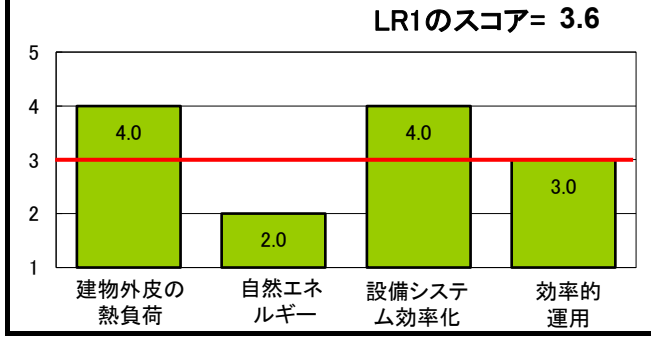
Q3のスコア= 2.5



LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 3.4

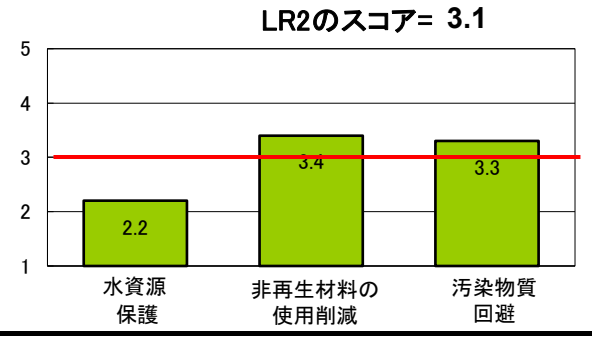
LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.6



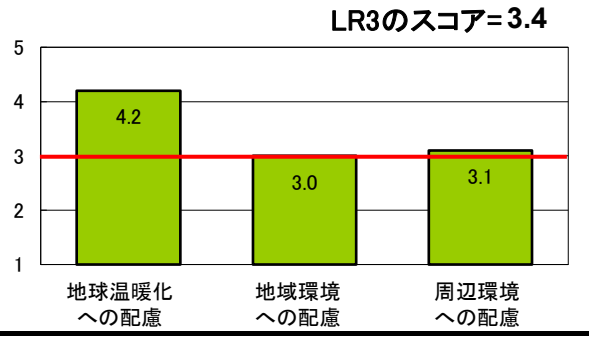
LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.1



LR3 敷地外環境

LR3のスコア=3.4



3 設計上の配慮事項

総合

ZEH-M　Oriented相当の断熱性能とし、省エネルギー性の高い
快適な室内環境を整えられるよう努めた。

その他

特になし。

Q1 室内環境

使用する材料はF☆☆☆☆のものとし、快適な室内環境を整えれるよう努めた。

Q2 サービス性能

各住戸にGbitクラス（光回線）のブロードバンド設備を整備し、快適な設備環境となるよう計画した。

Q3 室外環境（敷地内）

建物高さや外装の形状・色彩において、周囲のまちなみや風景にバランスよく調和させている。

LR1 エネルギー

適切な断熱材を施し外皮の熱負荷抑制を行い、高効率給湯器やLED照明を採用し、エネルギー負荷の減少に努める計画とした。

LR2 資源・マテリアル

有害物質を含まない材料を使用するよう努めた。

LR3 敷地外環境

ホールライフカーボンを下げるよう配慮した計画とした。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。
■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

建築物環境性能表示　結果〔重点評価〕

総合評価BEE　=　1.3

ラベル表示



環境性能		評価点	
(1)CO2削減		4.0	
CO2削減に配慮した環境性能			概要記入欄
LR3/ 1 /　/	地球温暖化への配慮	4.2	
配慮事項	ライフサイクルCO2排出量の削減に努めた。		

環境性能		評価点	
(2)みどり・ヒートアイランド対策		3.0	
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能			概要記入欄
Q3 / 1 /　/	生物環境の保全と創出	2.0	
Q3 / 3 /3.2/	敷地内温熱環境の向上	3.0	
LR3/ 2 /2.2/	温熱環境悪化の改善	3.0	
配慮事項	気象台既存データを用いて風向風速卓越風などの風環境を把握している。		

環境性能		評価点	
(3)建物の断熱性		4.0	
CO2削減に配慮した環境性能			概要記入欄
LR1/ 1 /　/	建物の熱負荷抑制	4.0	
配慮事項	日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級5とし、建物の温度差による熱損失・熱取得の低減に務めた。		

環境性能		評価点	
(4)エネルギー削減		4.0	
CO2削減に配慮した環境性能			概要記入欄
LR1/ 3 /　/	設備システムの高効率化	4.0	
配慮事項	高効率給湯器、LED照明設備等を採用することで省エネルギーに配慮している。		

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4（相当）以上、非住宅部分が1.0以下であること
※ 住宅部分の一次エネルギー消費量については、BEIが1.0以下であること
※ 非住宅部分の一次エネルギー消費量については、「建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令（以下、「省令」という）」第1条第1項第1号もしくは、省令第1条第1項第3号に掲げる基準以下であること。

	住宅部分（品確法等級）		非住宅部分[BPI][BPIm]
外皮性能	等級5	（相当）	-

	住宅部分[BEI]	非住宅部分[BEI][BEIm]
一次エネルギー消費量	0.80	-